安全データシート

作成日:2015年4月10日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称	0.1mol/l(N/2)過マンガン酸カリウム溶液
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京)　(0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋)　(082)537-0290(広島)
整理番号	BB0601

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口):区分4 皮膚感作性/刺激性:区分2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分1 生殖変異原性:区分2 生殖毒性:区分2 特定標的臓器:区分1(呼吸器) (単回暴露) 特定標的臓器:区分1(呼吸器) (反復暴露)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性:区分2

＊記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

危険喚起語:危険

危険有害性情報:
飲込むと有害(経口)
重篤な眼の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能または胎児へ悪影響のおそれの疑い
呼吸器の障害
長期又は反復暴露による呼吸器の障害
皮膚刺激
水生生物に毒性あり

注意書き:
【安全対策】
環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
【救急処置】
飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚についた場合:多量の水と石けんで洗うこと。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
口をすすぐこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する時は洗濯すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

重要な危険有害性及び影響:該当情報なし。

特有の危険有害性	該当情報なし。
GHS分類区分に該当しない他の危険有害性	該当情報なし。
重要な兆候及び想定される非常事態の概要	該当情報なし。

3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別	混合物	
化学名	過マンガン酸カリウム	水
別名	ー	ー
化学式	$KMnO_4$	H_2O
CAS No.	7722-64-7	7732-18-5
成分及び含有量	15.8g/L (1.58%) Mnとして0.55%	残り
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-446	ー
GHS分類に寄与する不純物及び安定化化合物	該当情報なし。	

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動させ、安静にさせる。医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行う。直ちに医師の手当を受ける。
飲込んだ場合	口の中を洗浄後、多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	該当情報なし。
応急処置をするものの保護	該当情報なし。
医師に対する特別な注意事項	該当情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	燃焼性はない。
特有の消火方法	周辺火災に適した消火剤を用いる。出来れば容器を安全な場所に移動する。不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す
二次災害の防止策	該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	高温多湿の雰囲気を避け慎重に扱う。
局所排気・全体換気	局所排気装置を使用する。
安全取扱い注意事項	適切な保護具を着用して取扱うこと。
接触回避	過酸化水素水、酸、アルカリ、有機物との混触を避ける。
保管	
技術的対策	施錠して保管すること。
安全な保管条件	換気のよい冷所に、直射日光を避けて保管する。密封保管。硝子製容器に蓄える。混触危険物質との混触を避ける。
容器包装材料	ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

許許容濃度	
日本産業衛生学会	0.3mg/m^3(Mn)
ACGIH	TLV-TWA 0.2mg/m^3(Mn)

設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色等)	暗赤紫色の液体
臭い	無臭
臭いの閾値	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
融点・凝固点	該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
燃焼性(固体、気体)	該当情報なし。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
蒸気密度	該当情報なし。
比重(相対密度)	該当情報なし。
溶解度	該当情報なし。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
粘度(粘性率)	該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	徐々に分解して二酸化マンガンを生じる。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光、熱。
混触危険物質	過酸化水素水、酸、アルカリ、有機物
危険有害な分解生成物	二酸化マンガン

11. 有害性情報

急性毒性	LD_{50} 1090mg/kg 経口-ラット ($KMnO_4$として) 飲込むと有害(経口)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	重篤な眼の損傷
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	生殖能または胎児へ悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性(単回暴露)	呼吸器の障害
特定標的臓器毒性(反復暴露)	長期又は反復暴露による呼吸器の障害
吸引性呼吸器有害性	該当情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物に毒性あり
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	該当情報なし。

13. 廃棄上の注意

還元剤を加えて混和し、希硫酸を加える。還元後ソーダ灰で中和し、多量の水で希釈して処理する。産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当しない。
品名（国連輸送名）	該当しない。
国連分類	該当しない。
容器等級	該当しない。
国内規制	該当法規制特定できず。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
応急措置指針番号	該当しない。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
労働安全衛生法	施行令第18条の2[名称等を通知すべき有害物(MSDS対象物質)]（マンガン無機化合物を1%以上含有する） 特定化学物質第2類物質管理第２類物質（マンガン化合物を1%を超えて含有する）
消防法	該当しない。

16. その他の情報

引用文献	16615の化学商品（化学工業日報社） 化学大辞典　共立出版
	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。